

協力者は約100人の中高生!!!

カルタ DE めぐる

カルタで

目黒区の魅力を見つけました!!

「カルタ DE めぐる」制作の流れ

読み札作り

第九中学校と東山中学校の美術部と児童館に来館した中高生が考えました。

「ティーンズ・フェスタ2017」会場や各児童館での投票

決定

八雲学園中学校高等学校書道部が書きました。

絵札作り

第九中学校、東山中学校、大島中学校、目黒中央中学校、目黒学院中学校生徒会児童館来館児童が描きました。

カルタ製造

下目黒福祉工房によって行われ、印刷された読み札、絵札のシールは手作業で1枚1枚、札に貼り付けました。

12月8日、目黒区民センターでカルタの完成お披露目会がありました。お披露目会の中で、絵札を描いてくれた中学生たちで実際に遊んでみました。遊んだ後の感想では、みんな「楽しかった」と言っていました。インタビューの中で、絵を描くのに何日もかった人もいたり、「目黒区のカルタを作れて良かった」という声を多く聞いたりすることができました。完成したカルタを手に、みんな集合写真を撮りました。

毛筆で

「カルタ DE めぐる」はカルタで遊びながら目黒区の魅力を知ってもらうことをコンセプトに、区内在住、在学の中高生が中心となって。中高生が感じる目黒区の魅力、見所をカルタにまとめたものです。平成28年の制作開始から多くの関係者の協力により、約2年をかけて平成30年12月に完成しました。



カルタ作りに参加した「カルタ DE めぐる」つくり手実行委員のみなさん

つくり手実行委員に聞きました。

目黒区在住の人も、そうでない人も、目黒の良さを知ってもらい、実際に足を運んでもらいたい。そのきっかけに「カルタ DE めぐる」ができれば嬉しい、と頑張って作られたそうです。



▲つくり手実行委員一人ひとりに話をうかがいました。

- 目黒の良いところの多さに驚きました。(山田)
- 自分の描いた絵がカルタになることに初めは不安だったけれど、とても良い経験になりました。(鎌倉)
- 何を描いていいかわからなかったが、目黒の資料を集めていくうちに楽しくなりました。(中村)
- 僕は川崎市中原区に住んでいるのですが、こんな取り組みがあるとは知りませんでした。カルタには目黒区の良さが詰まっており、それを共有でき、学ぶこともできる。こんな素晴らしい取り組みは他にないと思います。(山岡)
- みんなが協力して完成して、よいカルタになったと思います。「目黒区こんな場所がある」と、目黒のことを新しく知ることができて良かったです。(斎藤)
- やっていくうちに、目黒の良いところをたくさん知ることができました。他校の方の絵を見て、画力の差を感じました。ただ、作成したときの自分の気持ちは負けていないと思います。(亀山)

絵も文も、特徴的で、とてもよかったので、色々な人に広まって、目黒の色々な事を知ってもらいたいです。
牟田口さん(1年生)

耳に残る文章もあり、かるたを楽しみながら目黒の様々な場所についての知識を得ることができました。
大山さん(2年生)



※大山さんは読み手もしてくれました。